

一般社団法人日本鉱物科学会  
2021年度第1回臨時理事会 議事録

- 【1】招集年月日：2021年12月3日(金)
- 【2】開催年月日及び時刻：2021年12月13日(月) 13時00分～14時18分
- 【3】開催場所：国立科学博物館総合研究棟4階 地学研究部長室  
〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1  
(Zoom Meeting によるオンライン会議)
- 【4】理事総数および定数：総数22名，定足数12名
- 【5】出席理事数：19名 (オンライン会議参加)
- 宮脇律郎， 大和田正明， 安東淳一， 阿部なつ江， 井上 徹， 池田 剛， 磯部博志，  
大藤弘明， 片山郁夫， 川本竜彦， 河上哲生， 栗林貴弘， 黒澤正紀， 辻森 樹，  
永井隆哉， 永嶋真理子， 伴 雅雄， 三宅 亮， 塚本尚義
- 【6】欠席理事数：3名(鍵 裕之，土屋範芳，吉朝 朗)
- 【7】出席監事：小暮敏博
- 【8】オブザーバー：(理事以外の幹事，委員長等報告事項報告者)

出席：和文誌編集幹事：高澤栄一GKK編集委員長，JpGU選出プログラム委員 門馬綱一(正)，  
西原遊(副)，教育普及委員会 林信太郎委員長，  
新鉱物・命名・分類委員会門馬綱一委員長，博物館委員会 坂野靖行委員長，IMA小委員会・  
学術会議連携会員：西山忠男委員長，2022年年会運営委員会小西博巳委員長，日本鉱物科学  
会論文賞選考委員会 糀谷 浩委員長，日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会 川野  
潤委員長

欠席：森下知晃Elements幹事

【9】議事概要

宮脇理事の発議により議長を理事の互選で選ぶことになり，黒澤正紀理事が議長に選出された．  
黒澤議長から，2021年12月3日に理事会招集通知を行い，本日第1回臨時理事会を開催すること  
になった旨の報告があった．

次に，決議定足数と開始時刻における出席理事数の確認を行い，理事19名の出席を確認したので，  
定款30条により理事会が成立した．このことを受け，黒澤議長はWEB会議システム(ZOOM Meeting)  
を用いての理事会開会を宣言した．また，WEB会議システムの通信状況(出席者全員の音声と映像が  
即時に他の出席者に伝わり，適時的確な意見表明が互いのできる状況)に問題がないことを確認し，  
2021年度第1回臨時理事会を開始した．

会議に先立ち，理事の互選で黒澤正紀理事が書記として選出された．

## 1. 報告事項

### 1. 会員報告（阿部会員幹事・理事）

阿部会員幹事より、2021年度第1回定例理事会(2021年9月17日)以降の会員動静について、以下の通り報告がなされた。

退会者1名(内訳：一般会員1名)であった。また、2021年9月17日第1回定例理事会において、会費未納のため資格停止となっていた会員1名(記載省略)が会費を全納して復活したことが報告された。登録先住所不明、メールが届かない一般会員1名がいるので、関係者からの連絡をお願いした。2021年12月9日現在会員数は、835名(2021年9月17日) - 1(退会) + 1(復活) - 1(不明)で834名となった。

### 2. 広報報告（大藤広報幹事・理事）

大藤広報幹事より、広報活動について以下の通り報告がなされた。

(1)会員による研究成果等のSNSを活用した情報発信窓口の設置：会員の研究成果等の情報を広く一般の方々に周知・発信するため、学会公式SNS (Twitter/Facebook)の活用を企画、学会HPへ窓口を設置(<http://jams.la.coocan.jp/sns.html>)。これまで、1)透明ヒスイを合成(愛媛大・入船会員の研究成果紹介)、2)日本の国石ヒスイ(政府オンライン雑誌Highlighting Japanでの掲載記事紹介)、3)学会紹介記事(株式会社えにさむHP、故イ未来(フルイミライ)への掲載紹介)を投稿。(2)地学オリンピック「地球にわくわく未来ガイド」への掲載広告を作製・提出：2021年12月19日の地学オリンピック予選参加者へ配布する冊子「地球にわくわく未来ガイド」へ日本鉱物科学会を紹介する広告を作製(前回のもの修正)、提出。(3)国際鉱物年2022を普及・発信するための鉱物科学の副読本(小冊子)の企画：教育普及委員会・博物館委員会とも連携し、鉱物科学を普及するための小中学生向けの副読本(ブックレット)を企画。(4)今年の年会における企業と学生の交流会開催の結果について参加者のアンケートを元にした詳細な報告があった。

### 3. 教育普及委員会報告（林委員長）

林教育普及委員会委員長より、委員会活動について以下の通り報告がなされた。

教育普及委員会内規により、長瀬敏郎委員の後任委員として、川本竜彦会員・理事を指名し、本人の承諾、および当委員会の了承を受けた。また、鉱物の和名表記について、教科書会社にも連絡して検討をはじめている。この件では、以前の文科省の学術用語集のような、教育関係・GKK編集でも利用できるようなガイドラインを検討してほしいとの意見があった。

### 4. JpGU2022でのセッション提案（門馬JpGU 2022年学会選出プログラム委員）

門馬学会選出プログラム委員より、JpGU2022でのセッションについて以下の通り報告がなされた。JpGU2022での学協会セッションとして、「岩石・鉱物・資源(コンビーナ：野崎 達生・西原 遊・門馬 綱一・瀨織 佑衣)」、「鉱物の物理化学(コンビーナ：大平 格・柿澤 翔)」の2つを指定。「岩石・鉱物・資源」は資源地質学会・日本地質学会との共催予定。

### 5. 英文誌編集報告（吉朝英文誌幹事・理事：代理 永井副委員長・理事）

永井副委員長より，JMPSの編集状況および印刷業務委託・編集業務委託での検討事項について以下の報告がなされた．

(1)JMPS現状報告：1)2021年中の投稿数：20編，2)編集状況：早期公開中1編，受理論文2編，査読中：4編，返却中：4編，3)発行状況：116巻4号(8月号)2021年10月19日発送，原著論文5編 合計52頁，4)今後の予定：116巻5号(10月号)：発行日未定，原著論文2編(印刷準備中)，Technical Note1編(早期公開中)．発行にはもう2，3編論文必要．116巻6号(12月号)：発行日，掲載論文未定．

(2)2022年4月からの印刷業務委託(請負)契約：2022年3月で契約満了となる小宮山印刷工業には2022年4月から12月まで請負契約を予定．

(3)2023年1月からの印刷(請負契約)と編集業務委託(準委託)契約を検討中．数社から見積を取り，4月までに委託先を選定，5月の第2回定例理事会の予算案に2023年1月からの委託費などを計上する予定．

## 6．和文誌編集委員会報告(高澤和文誌幹事)

高澤和文誌編集幹事より，2021年9月15日に開催された第1回定例理事会報告以降の状況と2021年12月10日開催のGKK編集委員会について以下の報告がなされた．

### 1.編集状況報告．

(1)12月9日までの報告：1)発行状況：50巻4号(2021年11月30日付発行54p)：原著論文1編(6p)，学会記事(43p)，投稿規定(3p)，総目次(2p)．電子ジャーナル2021年12月20日公開予定．冊子発送2021年12月20日発送済．50巻1号-4号(4号分)掲載内容：原著論文2件14p，短報0件0p，総説0件0p，受賞記念研究紹介6件48p，資料・解説1件10p，鉱物の分析及び実験・解析のコツと勘どころ1件9p，日本新産鉱物情報1件2p，訂正0件0p，新刊紹介1件1p，投稿規定6p，学会記事(理事会・総会議事録)61p，その他の記事(年会案内記事)11p，追悼文0p，総目次2p，広告0件0p，白頁2p。4号合計頁166p，41.5p/号。2)現在受理論文：0編，3)現在査読中論文：0編．

(2)2022年中に51巻電子ジャーナル発行予定。51巻1号(2022年3月中電子ジャーナル発行予定)：2020年度受賞者記念研究紹介，学会記事。51巻2号(2022年5月中電子ジャーナル発行予定)：2020年度受賞者記念研究紹介，2022年年会・総会のお知らせ，学会記事。51巻3号(2022年8月中電子ジャーナル発行予定)。51巻4号(2022年11月中電子ジャーナル発行予定)。

2.編集委員長指名報告：興野純委員を本人の承諾を得て2021年度定時総会終了時までの任期で，副編集委員長に指名．

3.審議事項：1)現在の小宮山印刷工業との請負契約を2022年12月まで変更する件：現在の小宮山印刷工業とのGKK契約はJMPSと同じく2022年3月まで．学会事務局事務員が2023年3月まで勤務可能となり，それまでは編集業務委託が不要となるので，小宮山印刷工業とも2022年12月まで現状のまま契約継続が可能となった．そこで，現在の小宮山印刷工業とのGKK請負契約を，2022年4月～2022年12月までの契約に変更して継続契約をすることを提案。2)2023年1月以降のGKK印刷請負業務および編集業務委託先の選定方法とスケジュールの件：2023年1月以降は電子ジャーナル作成業務(請負契約)と合わせて編集業務の委託(準委任契約)を開始する必要あり．契約手続きや予算案計上に必要な期間を考慮すると，2022年4月頃までに決定する必要．今後，現在の小宮山印刷工業も含め他数社にGKK編集費用の見積もりを依頼し，選定作業を実施の予定．特に，JMPSが選定した委託先と小宮山

印刷工業からの見積もりを比較して委託先を検討したい。但し、両雑誌で編集担当委託先が同じ会社である必要はない。3)12月13日の臨時理事会への議案提出：臨時理事会で、ページチャージ料金2,500円の据え置き、2022年1月からJ-Stage公開論文の3年間非会員非公開の解除、無料別刷の廃止、2022年4月から12月までのGKK電子ジャーナル作成業務委託(請負)契約を現在の小宮山印刷工業と継続すること、2023年1月からのGKK印刷業務および編集業務委託業者選定開始などを提案予定。4)若手編集委員と会員を中心とするGKK改革に向けたワーキンググループ発足について報告。GKKの改善すべき点について編集委員会で意見交換。

## 7. その他の報告

### (1)WRT-17報告(土屋理事：代理 黒澤庶務幹事・理事)

黒澤庶務幹事より、第17回 Water-Rock Interactionの開催(鉱物科学会共催)が、IAGC(International Association of GeoChemistry)との協議により、2023年8月開催予定で、現在、鉱物科学会から学術会議に対し、国際会議主催に関する助成を申請中との報告がなされた。

### (2)防災または防災教育担当の件(宮脇会長、黒澤庶務幹事・理事)

黒澤庶務幹事より、JAMS防災教育担当の件について報告がなされた。JpGU教育検討委員会防災教育小委員会より、当学会の防災または防災教育担当の連絡先について照会があったため、阿部JpGU連絡委員を通じて、JpGU教育検討委員会への鉱物科学会からの委員で、JpGU防災教育小委員会副委員長でもある、林信太郎JAMS教育普及委員会委員長にJAMS防災教育担当を引き受けていただいたとの報告がなされた。

### (3)財政、雑誌・編集、事務局体制再建に向けた検討報告(大和田副会長、宮脇会長)

大和田副会長より、今後は雑誌の編集・出版業務と事務局の体制について検討を進めると共に、2021年12月から2022年9月までに予想されるスケジュールについて報告がなされた。今後の予定としては、1~3月：JMPSとGKKの23年1号から編集業務委託する業者を検討、および代表理事・庶務幹事・会計幹事を中心に23年4月以降の事務体制の議論、4月：編集業務の委託先提案および事務体制の方針提案、5月：第2回定例理事会で雑誌編集業務提携を前提とした予算案の承認および新事務体制の承認、7月：事務局体制の補正予算案承認(臨時理事会開催)を想定しているとの報告がなされた。

### (4)来年のIMAに関する連絡(大藤理事)

大藤理事より、2022年7月18日から22日までリヨンで開催されるIMAについて、この会議は完全オンラインでの実施予定で、約30のセッションを設定、アブストラクト締め切りは2022年3月初旬ごろとの報告がなされた。

### (5) その他：特に無し

## II. 審議事項

第1号議案 各委員会委員承認の件（宮協会長）

宮協会長より、各委員会の新任委員について各委員会委員長から推薦されたことが紹介され、異議なく新任委員が承認された。（下記、各委員会の下線で示された方々が今回承認された委員）

(1) 渡邊萬次郎賞選考委員会

委員長(原則2期目委員から会長指名、今回申し合わせで前年度副委員長)：伴 雅雄(理事)

副委員長(1期目委員から委員長指名)：掛川 武

委員：(2期目継続委員3名)：高木哲一、伴 雅雄(委員長)(理事)、吉朝 朗(理事)

(2期目の長瀬委員の後任委員1名)：川本竜彦(理事)

(1期目委員4名委員長指名)：阿部利弥、安東淳一(理事)、掛川 武(副委員長)、斉藤 哲

(2) 日本鉱物科学会論文賞選考委員会

委員長(原則2期目委員から会長指名、今回申し合わせで前年度副委員長)：糺谷 浩

副委員長(1期目委員から委員長指名)：浜根大輔

委員：(2期目継続委員5名)：糺谷 浩(委員長)、伴 雅雄(理事)、辻森 樹(理事)、石丸聡子、越後拓也

(1期目委員5名委員長指名)：池田 剛(理事)、興野 純、栗林貴弘(理事)、浜根大輔(副委員長)、松影香子

(3) 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会

委員長(原則2期目委員から会長指名、今回申し合わせで前年度副委員長)：川野 潤

副委員長(1期目新委員から委員長指名)：興野 純

委員：(2期目継続委員4名)：池田 進、奥寺浩樹、川野 潤(委員長)、中塚晃彦、森本和也

(1期目委員5名委員長指名)：磯部博志(理事)、北脇裕士、興野 純(副委員長)、栗林貴弘(理事)、鈴木正哉

第2号議案 会長・副会長推薦委員会委員承認の件（黒澤庶務幹事・理事）

黒澤庶務幹事より、会長・副会長推薦委員会委員について提案がなされ、下記の委員が異議なく承認された。

委員：磯部博志(理事)、井上 徹(理事)、川本竜彦(理事)、佐藤 努、伴 雅雄 (理事)

(委員長は委員による互選で選出)

第3号議案 名誉会員に関する検討委員会の委員承認の件（黒澤庶務幹事・理事）

黒澤庶務幹事より、名誉会員に関する検討委員会の委員について提案がなされ、下記の委員が異議なく承認された。

名誉会員検討委員会(仮称, 委員9名)

委員長: 鍵 裕之(理事)

委員: 安東淳一(理事), 阿部なつ江(理事), 井上 徹(理事), 池田 剛(理事), 大和田正明(理事),  
永井隆哉(理事), 永島真理子(理事), 吉朝 朗(理事)

第4号議案 2023年年会開催場所について(磯部行事幹事・理事)

磯部行事幹事より, 2023年年会開催地として大阪市立大学(来年度大阪公立大学に名称変更, 運営委員長: 篠田圭司会員)が提案され, 異議なく開催地と運営委員長が承認された。

第5号議案 JMPS電子ジャーナル業務委託(請負契約)とJMPS編集業務委託(準委任契約)について  
(吉朝英文誌編集幹事・理事: 代理 永井英文誌編集委員会副委員長・理事)

(1)2022年4月から12月までの電子ジャーナル印刷請負契約について

永井副委員長より, 2022年3月で契約満了となる小宮山印刷工業との印刷請負契約について, 図をカラー化しても白黒と同額であることから, 2022年12月まで継続契約をすることが提案され, 異議なく承認された。

(2)2023年1月からの電子ジャーナル業務委託(請負契約)と編集業務委託契約(準委任契約)について

永井副委員長より, 2023年1月からの委託業務契約を検討するため, 数社の見積から委託業者を2022年4月までに検討することが提案され, 異議なく承認された。

第6号議案 GKK電子ジャーナル発行による変更について

(大藤委員・理事: 説明 高澤和文誌編集幹事)

高澤和文誌編集幹事より先のGKK編集委員会審議結果, ページチャージ料金2,500円の据え置き, 2022年1月からJ-Stage公開論文の3年間非会員非公開解除, 無料別刷の廃止, 2022年4月から12月までのGKK電子ジャーナル作成業務委託(請負)契約を現在の小宮山印刷工業と継続契約をする, 2023年1月からのGKK印刷業務(請負契約)および編集業務委託(準委任契約)業者について複数から見積を取り, JMPSと協議する場を設けて選定を進めていくこと等, 再度説明があり, 大藤理事により提案がなされ, 異議なく承認された。

第7号議案 Element 誌の2022年予算案承認などの件(宮脇会長)

宮脇会長より, Elements誌発行の2022年予算案を当学会として承認する方針がElements事務局資料を基に説明と提案がなされ, 異議なく承認された。

### III. その他

(1)名誉会員候補者推薦の際の情報収集のため, 名誉会員の氏名を学会HPに公開することについて  
(宮脇会長)

宮脇会長より, 名誉会員候補者推薦の便宜のため, 名誉会員の氏名を名誉会員検討委員会(仮称)他関係委員会での協議を踏まえた後, 学会HPに公開するとの提案がなされ, 異議なく承認された。

以上の議事を終え，14時18分に閉会した。

上記の決議を明確にするため，出席した会長，副会長及び監事がこれに記名押印する。

令和4年(2022年)1月15日

会 長 宮脇 律郎 印

副会長 大和田 正明 印

監 事 小暮 敏博 印

( 配布時押印省略 )